科目名	アンサンブルⅠ			担当講師	曽山良一/木村圭子/永盛岳生
講師実務経験	プロミュージシャン				
対象学年	1　学年	対象コース	ヴォーカルコース/ギターコース ベースコース/ドラムコース/総合コース	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	28　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	授業を通じてアンサンブルとは何かを理解し修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月16日	授業ガイダンス
2	4月21日	バンドアンサンブルの基本①　/ オリジナル曲作成の基本①
3	4月23日	バンドアンサンブルの基本②　/ オリジナル曲作成の基本②
4	4月28日	バンドアンサンブルの基本③　/ オリジナル曲作成の基本③
5	4月30日	バンドアンサンブルの基本④　/ オリジナル曲作成の基本④
6	5月12日	オリジナル曲作成1と伴奏編成
7	5月14日	オリジナル曲作成2と伴奏編成
8	5月19日	オリジナル曲作成3と伴奏編成
9	5月21日	オリジナル曲作成4と伴奏編成
10	5月26日	オリジナル曲作成5と伴奏編成
11	5月28日	オリジナル曲作成6と伴奏編成
12	6月9日	オリジナル曲作成7と伴奏編成
13	6月11日	オリジナル曲作成8と伴奏編成
14	6月16日	オリジナル曲作成9と伴奏編成
15	6月18日	オリジナル曲作成10と伴奏編成
16	6月23日	オリジナル曲作成11と伴奏編成
17	6月25日	オリジナル曲作成12と伴奏編成
18	6月30日	オリジナル曲作成13と伴奏編成
19	7月7日	オリジナル曲作成14と伴奏編成
20	7月9日	オリジナル曲作成15と伴奏編成
21	7月14日	オリジナル曲作成16と伴奏編成
22	7月23日	オリジナル曲作成17と伴奏編成
23	7月28日	オリジナル曲作成18と伴奏編成
24	7月30日	オリジナル曲作成19と伴奏編成
25	8月18日	オリジナル曲作成20と伴奏編成
26	8月20日	オリジナル曲作成21と伴奏編成
27	8月25日	オリジナル曲作成22と伴奏編成
28	8月27日	オリジナル曲作成23と伴奏編成

評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度（70%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	84時間29中時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	DTM Ⅰ			担当講師	中村未央
講師実務経験	DTM講師経験				
対象学年	1　学年	対象コース	ヴォーカルコース/ギターコース/ベースコース/ドラムコース/作曲・DTMコース /総合コース	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	7　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	DAW（Cubase）の基本操作、楽曲の構成、音色の仕組みを修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月21日	A班：授業ガイダンス
2	4月28日	B班：授業ガイダンス
3	5月12日	A班：Cubaseの基本操作と楽曲制作基礎-1
4	5月19日	B班：Cubaseの基本操作と楽曲制作基礎-1
5	5月26日	A班：Cubaseの基本操作と楽曲制作基礎-2
6	6月9日	B班：Cubaseの基本操作と楽曲制作基礎-2
7	6月16日	A班：Cubaseの基本操作と楽曲制作基礎-3
8	6月23日	B班：Cubaseの基本操作と楽曲制作基礎-3
9	6月30日	A班：Cubaseの基本操作と楽曲制作基礎-4
10	7月7日	B班：Cubaseの基本操作と楽曲制作基礎-4
11	7月14日	A班：Cubaseの基本操作と楽曲制作基礎-5
12	7月28日	B班：Cubaseの基本操作と楽曲制作基礎-5
13	8月18日	A班：Cubaseの基本操作と楽曲制作基礎-6
14	8月25日	B班：Cubaseの基本操作と楽曲制作基礎-6
15		

評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度（70%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	21時間中　8時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	音源制作基礎Ⅰ			担当講師	小島快之
講師実務経験	アーティスト				
対象学年	1　学年	対象コース	ヴォーカルコース/ギターコース/ベースコース/ドラムコース/作曲・DTMコース /総合コース	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	7　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	宅録で音源制作する為に必要な知識や技術を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月21日	B班：授業ガイダンス
2	4月28日	A班：授業ガイダンス
3	5月12日	B班：宅録で音源制作する為に必要な知識と実習1
4	5月19日	A班：宅録で音源制作する為に必要な知識と実習1
5	5月26日	B班：宅録で音源制作する為に必要な知識と実習2
6	6月9日	A班：宅録で音源制作する為に必要な知識と実習2
7	6月16日	B班：宅録で音源制作する為に必要な知識と実習3
8	6月23日	A班：宅録で音源制作する為に必要な知識と実習3
9	6月30日	B班：宅録で音源制作する為に必要な知識と実習4
10	7月7日	A班：宅録で音源制作する為に必要な知識と実習4
11	7月14日	B班：宅録で音源制作する為に必要な知識と実習5
12	7月28日	A班：宅録で音源制作する為に必要な知識と実習5
13	8月18日	B班：宅録で音源制作する為に必要な知識と実習6
14	8月25日	A班：宅録で音源制作する為に必要な知識と実習6
15		

評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度（70%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	21時間中　8時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	作・編曲Ⅰ	担当講師	谷津祐子
講師実務経験	大学非常勤講師		

対象学年	1	学年	対象コース	ヴォーカルコース/ギターコース/ベースコース/ドラムコース/作曲・DTMコース/総合コース	授業形態	講義/実習
期　間	前期	総授業回数	14　回	1回あたりの授業時間		135　分

期	修　得　目　標
前期	音楽の理論的側面に触れることによって表現の可能性・多様性を知り、意図的な作曲・編曲ができる力を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月15日	授業ガイダンス／音楽を構成する要素
2	4月22日	スケールとキー1
3	5月13日	スケールとキー2
4	5月20日	調号と近親調
5	5月27日	音程1
6	6月10日	音程2
7	6月17日	コード1
8	6月24日	コード2
9	7月8日	コード3
10	7月15日	ダイアトニックコード1
11	7月22日	ダイアトニックコード2
12	7月29日	メロディとスケール・コード1
13	8月19日	メロディとスケール・コード2
14	8月26日	まとめと復習
15		

評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況
	成績評価方法:B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	授業内で適宜プリントを配布します
注意事項	42時間中　15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)

科目名	ヴォーカル実習Ⅰ			担当講師	宍戸　美澪
講師実務経験	ヴォーカリスト、シンガーソングライター				
対象学年	1　学年	対象コース	ヴォーカルコース/総合コース	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	20　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	発声法の基礎と歌唱法を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月15日	発声法基礎（複式呼吸・姿勢・口の開け方・喉の開き方）
2	4月22日	発声法基礎（高音域）
3	5月13日	発声法基礎（低音域）
4	5月20日	発声法基礎（中音域）
5	5月27日	発声法基礎（鼻腔共鳴）
6	6月10日	発声法基礎（鼻腔共鳴）
7	6月17日	歌唱法（ミックスボイス）
8	6月24日	歌唱法（ミックスボイス）
9	7月4日	歌唱法（ビブラート）
10	7月8日	歌唱法（ビブラート）
11	7月11日	声量アップ
12	7月15日	声量アップ
13	7月18日	声量アップ
14	7月22日	音域を広げる
15	7月25日	音域を広げる
16	7月29日	ロングトーン
17	8月19日	ロングトーン
18	8月22日	楽曲の構成　表現力を高める
19	8月26日	歌詞の表現　表現力を高める
20	8月29日	身振り手振りのつけ方

評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度（70%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	60時間中　21時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	リズムⅠ			担当講師	神田　直樹
講師実務経験	ドラマー、パーカッショニスト				
対象学年	1　学年	対象コース	ヴォーカルコース/ギターコース/ ベースコース/ドラムコース/総合コース	授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	14　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	音符の理解、ベーシックなリズム感を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月16日	拍と小節、4分と8分それぞれの音符と休符について
2	4月23日	16分音符、休符と構成音(4音構成、3音構成)について
3	4月30日	16分音符、休符と構成音(2音構成、1音構成)について
4	5月14日	8分3連符と構成音(3音、2音、1音構成)について
5	5月21日	8分で構成されているリズムについて
6	5月28日	8分音符のクリック移動について
7	6月11日	16分で構成されているリズムについて
8	6月18日	アクセントとバックビートについて
9	6月25日	タイとスラー、シンコペーションについて
10	7月9日	リズムを構成する音の要素について
11	7月23日	アクセントとバックビートについて
12	7月30日	フィールとビートの知識について
13	8月20日	試験対策
14	8月27日	実技試験
15		

評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度（50%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	42時間中　15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	作詞Ⅰ			担当講師	杉本直香
講師実務経験	シンガーソングライター				
対象学年	1　学年	対象コース	ヴォーカルコース/ギターコース/ベースコース/ドラムコース/作曲・DTMコース/総合コース	授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	作詞の基礎を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月17日	詩の大切さを理解する
2	4月24日	曲の分析
3	5月8日	分析結果から新たに作詞
4	5月15日	ら抜き言葉
5	5月22日	作詞で使える色の表現について（1）
6	6月12日	作詞で使える色の表現について（2）
7	6月19日	作詞で使える天気や景色の表現について（1）
8	6月26日	作詞で使える天気や景色の表現について（2）
9	7月10日	曲・歌詞から詩的表現を集める
10	7月17日	叙事詩・叙情詩・叙景詩（1）
11	7月24日	叙事詩・叙情詩・叙景詩（2）
12	8月21日	当用漢字・常用漢字
13	8月28日	比喩（直喩・隠喩）
14		
15		

評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度（70%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	39時間中　14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	音楽ビジネス			担当講師	曽山　良一
講師実務経験	JASRAC会員27年・ポリドール、東芝EMI、VAPレーベル契約				
対象学年	1　学年	対象コース	ヴォーカルコース/ギターコース/ベースコース/ドラムコース/スタジオサウンドコース/作曲・DTMコース/総合コース	授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	90　分

期	修　得　目　標
前期	音楽産業における立ち位置を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月17日	プロ42年の経験・自己紹介・授業ガイダンス
2	4月24日	音楽産業について、職種
3	5月8日	レコード会社について（メジャー・ミニメジャー・インディーズ）
4	5月15日	実演家、コンポーザーと法人との契約について
5	5月22日	著作権とは、定義、保護期間について
6	6月12日	著作権、支分権について
7	6月19日	著作権の及ばない事例について
8	6月26日	著作権の管理について
9	7月10日	音楽、舞台専門用語について
10	7月17日	音楽、楽器の略称について
11	7月24日	ホール、ライブハウス、イベント等の興行について
12	8月21日	ポピュラー音楽史、質疑応答
13	8月28日	総括・試験対策
14		
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	26時間中　9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	音楽研究			担当講師	永盛　岳生
講師実務経験	自身のバンドにて音楽レーベルよりデビュー。アーティスト専属契約。TV、CM楽曲タイアップ等。				
対象学年	1　学年	対象コース	ヴォーカルコース/ギターコース/ベースコース/ドラムコース/スタジオサウンドコース/作曲・DTMコース/総合コース	授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	45　分

期	修　得　目　標
前期	音楽及びポップカルチャー全体を体系的に学ぶ事で社会と音楽文化の歴史と変化を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月17日	授業ガイダンス
2	4月24日	ポップミュージックの基礎知識
3	5月8日	ブルースとポピュラーミュージックの誕生
4	5月15日	ロックミュージックの誕生とその発展
5	5月22日	パンク誕生の文化的、社会的背景とその影響
6	6月12日	ヒップホップの誕生の文化的、社会的背景
7	6月19日	ポピュラーミュージックにおける歌詞の分析
8	6月26日	音楽と映像表現・映画史から学ぶポップカルチャーの現在
9	7月10日	音楽と映像表現・ミュージックビデオから学ぶ音楽産業の進化：1
10	7月17日	音楽と映像表現・ミュージックビデオから学ぶ音楽産業の進化：2
11	7月24日	ポップカルチャーと多様性の拡大：1
12	8月21日	ポップカルチャーと多様性の拡大：2
13	8月28日	まとめとテスト対策
14		
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	26時間中　9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	PA実習			担当講師	久本　晃三
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	PAという仕事を理解し、マイクケーブル、マイクスタンドの基本的な取り扱い を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日 4月25日 5月9日	オリエンテーション、ケーブル巻き
2	5月16日 5月23日 6月13日	PAセクションの仕事の概要説明、ケーブル巻き、マイク、マイクスタンドの取り扱い
3	6月20日 6月27日	PAセットを組んで音を出してみる。
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	REC実習			担当講師	金沢　琢司
講師実務経験	レコーディングスタジオ勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	授業選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	レコーディングスタジオの基本を修得

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日 4月25日 5月9日	スタジオワークの紹介
2	5月16日 5月23日 6月13日	マイクセッテイング（ドラムセット）
3	6月20日 6月27日	ミックス素材を使ってのデモミックス
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	各回授業にて配布
注意事項	9(6)時間中　6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	照明実習			担当講師	鈴木　雅光
講師実務経験	イベント制作会社勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	授業選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	『照明』とは、どのような仕事かを知り、自分が目指す職種との関わりを修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日 4月25日 5月9日	授業ガイダンス。照明の役割と、音楽と照明について
2	5月16日 5月23日 6月13日	仕込みからシュートまでについて
3	6月20日 6月27日	オペレートについて
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	各回授業にてプリント配布
注意事項	9(6)時間中　6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	テレビ番組制作			担当講師	田端　優一
講師実務経験	放送局関連会社勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	番組制作の流れとスタッフの役割を理解し、基礎的な知識と技術を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日 4月25日 5月9日	授業ガイダンス～番組制作の現場について
2	5月16日 5月23日 6月13日	テレビスタジオ、副調整室の仕組みや機材全般の取り扱い方について
3	6月20日 6月27日	テレビスタジオで番組の収録を行う
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	授業にて資料配布
注意事項	9(6)時間中　6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	文書デザイン			担当講師	近藤　直美
講師実務経験	パソコントレーナー歴28年				
対象学年	1　学年	対象コース	選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	Wordの有効な利用を通して、文書デザイン能力を取得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日 4月25日 5月9日	授業ガイダンス、PC操作、キーボード入力練習、ワードの基本的な操作、文書作成
2	5月16日 5月23日 6月13日	Wordによるビジネス文書・デザイン文書の作成 ビジネス文書の決まりを学ぶ。 文字装飾、表や図の挿入を学ぶ。
3	6月20日 6月27日	Wordによるデザイン文書の作成 Wordの様々な機能を生かした、デザイン文書の作成を学ぶ。
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	ヴォーカル実習（選択）			担当講師	宍戸美鈴
講師実務経験	シンガーソングライター				
対象学年	1　学年	対象コース	選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	発声法基礎と歌唱法を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日 4月25日 5月9日	発声法基礎（高音域・低音・中音域）　歌唱法（ミックスボイス）
2	5月16日 5月23日 6月13日	発声法基礎（高音域・低音・中音域）　歌唱法（ビブラート）
3	6月20日 6月27日	発声法基礎（高音域・低音・中音域・鼻腔共鳴）
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	ギター実習（選択）			担当講師	小松　チホコ	
講師実務経験	箱バンでのギター演奏９年、自身のバンド活動約15年					
対象学年	1　学年	対象コース	選択者		授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間		135　分

期	修　得　目　標
前期	ギター演奏の基本技術と知識を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日 4月25日 5月9日	実習内容について説明、セットアップ、基本エクササイズ
2	5月16日 5月23日 6月13日	オープンコード、コードの応用、シンプルな課題曲
3	6月20日 6月27日	ブルースフォームでの様々な演奏スタイル
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	ベース実習（選択）			担当講師	木村　圭子
講師実務経験	ベーシスト				
対象学年	1　学年	対象コース	選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	ベースの役割を学び、基礎スキルを修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日 4月25日 5月9日	BASSという楽器について（基本フォーム・運指トレーニング）
2	5月16日 5月23日 6月13日	2finger奏法基礎　8feel groove　課題曲
3	6月20日 6月27日	Slap奏法基礎　16feel feel groove 課題曲
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	ドラム実習（選択）			担当講師	岸林　大輔
講師実務経験	演奏家、ヤマハ、三響、ミツノ講師				
対象学年	1　学年	対象コース	選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	Dr,Set,及びリズムの基礎を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日 4月25日 5月9日	Stick Control&Foot リズムスタイル
2	5月16日 5月23日 6月13日	リズムスタイル#2、Fill-In
3	6月20日 6月27日	リズムスタイル#3、エチュード、まとめ
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	DTM実習（選択）			担当講師	中村　未央
講師実務経験	DTM講師経験				
対象学年	1　学年	対象コース	選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	基本的な打ち込み技術を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日 4月25日 5月9日	Cubaseの基本操作1
2	5月16日 5月23日 6月13日	Cubaseの基本操作2
3	6月20日 6月27日	Cubaseの基本操作3
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）